

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

Iskandar × Waver

Fate Unofficial Fanbook No.9

2017/3/20 mahobin POT



Accel zero **Re** order

Iskandar×Waver
Fate Unofficial Fanbook No.9
2017/3/20 mahobin POT



前書きという名の長文

長らくおまちせしました。
何度も落として延期してやっとこうして出すことができました。

AZOからもう1年ほど経つのに、今更AZO本？と思われても仕方ありません。

実際、AZOの発表から実装、その後のAZOカフェにダイニング…
当時は本当に夢のようで頭真っ白で何が起きているのか分からない状況のまま、
次々繰り出されるイベントに付いて行くので必死でした。

それも一段落して、ようやくAZOをマテリアルで何度も繰り返し見て
あーだこーだと咀嚼しながら、やっと飲み込んで…
そこからAZO本を作ろう！となった頃にはもう秋になってました。

最近、聞き及んだことですが、FGOで新規にファンになった方でAZOをプレイできてない方も
いるそうで…。これは是非復刻してもらわねばいけませんね！！
復刻と言わず、期間限定公開とかもったいないので、書籍とかCDドラマとかで手に取ることが
できたらいいのに…と夢見ております。

特にCDドラマとか、渡川さんの一人芝居キャットファイトはぜひ聞いてみたいですよ！！

……ここまで、書いておいてなんですが、この本はAZO本という名の
ただの工口本になってるような気がするので、お気をつけ下さい(今更)
御大の描き下ろしウェイパーちゃんが可愛すぎるのがいけいけなんだ…
しかし、第三再臨という底にウェイパーの既存イラストがあるのに、差分にせず
新規に描き下ろしてくれたい社長に感謝を…！！

なんか取り留めがなくなってきたので、このあたりで…

あ、そうそう…
すみません先に謝っておきます。
ウェイパーちゃんの冷感嵐くの忘れまして！！！！！！
ごめんなさい！！

2017年3月20日 まほうびん POT

attention!!

- ・ Fate/GO内のイベント「Fate/Accel zero Order」の二次創作本です。
- ・ AZOはぐだと孔明(三世)視点でしたが、イスカンドルとウェイバーをメインにして書いてみました。
- ・ 間桐家を焼やし羅夜おじさんと桜ちゃんを殺った後のイスウェイからはじまります。
- ・ イスウェイの関係は以前に魔力供給エッチしようとして失敗してる前置イスウェイですw
なので、まだ一般未経験w
- ・ 毎度のごとく、構造や妄想設定でんご盛りです。すみません…
- ・ (関係無いけど、ACT-8でイスウェイ登場してからその後黒アイリを倒すまで、
あれって半日の出来事なんでしょうか…??密度濃すぎる…)

←OK?

坊主

坊主！

……

ぼうず！

……

……



何を考え
込んだる?



あ……



なななんだよ!!
いきなり!!

さっきから
呼んでおるのに
返事もせんのは
貴様であらう



その…

自分でもはつきりとは
分からないんだけど…

あいつ…

キヤスターの
気配を追ってた

ん？

あの
整めっ面の軍師か？

ボ、ボク…
なんてだろ…

その…
あいつの魔力を
追えるというか

どこに
いるか…
分かる…
ような
気がするんだ…

う、うん…

坊主…

貴様、そんな書面が
できるのに
余に水汲みに
行かせたのか…

ば、ばかっ!!
違うよ!!

こんなこと……
通く離れた
サーヴァントの魔力を
導うなんて……

言いたくないけど
今のボクじゃ
到底無理なはずだ

でも
あいつの魔力の波動が
どの方向にあるのか……

手に取るように分かる……
というか
馴染みがあるというか
なんとというか……



……



……

ボク、ボクだって
不思議だよ！

なんだぞ、
その目は、!!

実際
それが本当に
当たってるかは
分からないし

あいつが仕掛けた
魔力の幻影かも
しれないし……

あいつの
言葉が
使っ……
使っ……

いや……

坊主が
そう言うのなら
確かであろうよ

あーっ
もういいよ!!

ライダー？



さっっ!!

フツ...



なんだよ!
急に!

こっちは
真面目に
話してるのに!

ば、馬鹿に
してるのか!?

いやいや
馬鹿には
しとらんよ
坊主



合点?

これで合点が
いったわい!

しかし
もしやとは
思ってたが!

そうか...

うむ！

では
早速参るぞ
坊主！

あの聳めっ面の
元に案内せい！

ちよじ……
ばっ、ばか！！

前にも言ったと思うけど
相手はキヤスターなんだ

それに
セイバーとランサーも
向こうについてる

こっちは
ボクらだけ
なんだ！

だからこうして

だったら
まずは下準備って
ものが必要だろ！

オマエを召喚した
この場所に
来たってのに……



なるほど
この場所は…

オマエ…ボクが
気付いてないとも
思ってるだらう？

ん？

マキリの工房を
あそこまで
めちやくちやに
しやがって…



—今は魔術師団に
言われてる

ブリックマンの家の近く

Patricの居住地

しかも賣の当主は
五百歳を超えてるや
けな魔術師だ

そんな神懸を現代まで
注がぬ通せるような
魔術師の工房だ



ほう？
そんなに
すこかったのか
あの工房は

—この間の
地下水路で結界も強らずに
魔力を暴れ流してた
素人キヤスターとは違う…

並大抵なこと
でマキリの
魔術工房を…

結界を
破れる訳がない



オマエ
相当魔力を
消費してるだろ？



や……



なんだ、坊主！
気付いておったか！

……おったか！
じゃねえよ！！



あの重鎮の居場所は
探さなくても
すぐに分かるとして！

だから……

少しはここで
回復に時間を
使うのが
得策だろ！



具体的に
どうするつもりだ？

アアア...

.....
では坊主...
下準備というのとは...



手っ取り早く
短時間で
魔力回復するには
これしか...

ふむ...

しかしなあ...

もう時間が
無いんだ！

そうだよ！
魔力供給だよっ

そ...



魔力供給などと
いう理由で坊主を
傷つけるのはもう……

以前も……

うまくいかん
かつただろう

なつ……!!



あ、あれは
オマエが!

オマエが途中で
やめたんだろ!

ボクは
平気だったのに!
オマエが……

そりや……
ボクは……

け、経験なんてないし……
それにこんな……
体躯だし……

そ、その
オマエの好みからは
かけ離れてる
だめうけど……

でも……

でも……





ボ、ボクは……
あんなの……

あのくらい
卑怯だ

ちよっとくらい
傷ついたって
そんなの……

うむ

そうさなあ



ふむ……
単なる坊主の
強がりかとも
思っていたが

今にして思うと
そういうわけでも
なかったと
いうことか



え？

だがな
坊主……



あの時は
まだ坊主には
早すぎると思ってな

坊主の必死で
辛そうな顔を見てると
つい、な……

さすがの余も
そのまま続けることが
できなかったわい

魔力供給などという
堅苦しい
取ってつけたような
言い訳は

余は
気に食わんな

気持ちよく
セツクス！

ならば余が
存分に坊主を
気持ちよくさせて
やろうではないか！

な…

な…

なんだよ…

ひ…
人がこんなに
真剣に…

ボクが
どんな愚いで
こんな！

あの時…

オマエが途中で
やめたりするから…

ボク…
ボクは…

もうオマエは
ボクに慣れて
くれないんじや
ないかって…

あー
すまんすまん

余も過保護が
過ぎたようだわい

ガニヤ
ガニヤ

だが、貴様の
その心意気……

余の見る目は
間違えて
なかったようだな

覇の兆しが
あなるとはのう……

そうか……

な……
何言ってるんだ
オマエ……？



おう！

まさか坊主が
面と向かって
余とセツクスが
したいなどと…

その素直さに
余も応える
こととするか！

ち、ちが
だから…

オマエ腕力が…
だから…

!!!



この場に
及んで
何を言うか

ひっ！
ま

ポ
ポ

び
あ
!!??

なんつー声を出すんだ！坊主！

なっ…
何っ!?

何って
随分睡れておると
思ってたな…

手加減したつもりだが
坊主の柔肌には
ちときつかったか

オマエが二度も
同じ所を
打つからだろ!!

うむ

なので
余が責任を持って
マスターの額の
腫れを取めようと
しているのだが

だからって
なんで舐めるん
だよっ!?

舐めときゃ治るとは
良く言うだろう

ひゃっ!!



なんだよそれ!?

テレビの
見過ぎか!?

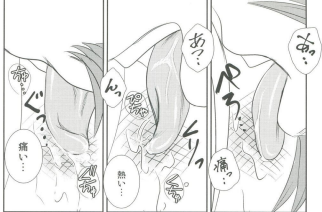
聖杯の知識か!?

グワッ
キャン
グワッ
キャン
グワッ
キャン



いいから
大人しくしておれ

グワッ
キャン



痛……

んっ
熱……

あ……
んっ
痛……

んっ



ライダーの
舌が……

んっ
あ……

んっ

熱い……



余計に
腫れちやうだろ……

熱いよ……

馬鹿……



んっ……

んっ

んむ
確かに熱いな

熱を持ってる
ようだの

痛っ……

しかし
なかなか
舌触りが良い

ひん？
舌触りが良い

な、なんで
こんな……

ん？

この弾力と
熱を持った
滑らかな舌触り……

なんとも
心地が良い！

ずっと
舐め続けても
飽きんな

ななんだよ！
それ！

この変態王！！



熱い……

ライター……

顔に汗の
吐息が熱い……

もう「J」の味
顔から頭が
血気がぬる……



髪が……

汗が

ぬる

ライター……

りあ……

顔が「J」の味
もどかし……



熱い……

ライター

熱い……

ライター……



余は腫れを
何とかおさめようと
したわけだが

これは夢ったのう……

ふえり



……



ば……



全然腫れが
引かぬどころか

どういわけか
別のところも
腫れてきたようだぞ



おや

ばかばかばかあ!!

オマエなんて
大っ嫌いだああ!!

ボカ

ボカ

グズ



こんな時だけ
そんな呼び方
するなんて

卑怯だ
バカ……

名……

名……

名……

名……

名……

名……







なにすんだよ!?
バカアアア!!

いや……
あまりに
かわいらしかった
もんでな……

息が止まる
かぞ……

……って

かわいい
言うなああ!!

どれ……

うわっ!!

バカバカ!
見るなって
言ってるだろ!!

……

要えてない
ところをみると

貴様
相当素質が
あるようだな……

なんの
素質だよ!?





イキそうか
坊主

では
存分に
出すがいい

ふえ…



らいだあ…

も
もうボク…

ん？



んあああああ
あああああ!!

ぢゅるるる!!





ボクはいいんだ

別に…

そうは言っても
はぐしてやらんと
坊主が辛いだろう

辛いとか
そんなの…

ボクは……



強情な
奴だな…

あつ!!

そこ
いやあ…



愛いのう

しかし…
以前と比べて
随分とほぐれ
てるような…

…!?



もういいだろ!!

これは……

は…早く
そのでつかいの
入れろよ!!

入れろとは
なんとも
色気のない……

まー

う……っ
うめ(ハニ)!!

早く
しろよ!!

急がんでも
良いと言ったのは
貴様であろう

ゆっくり愛でて
やるから

安心せい

ゴキッ

あ……

馬鹿……

坊主、
力を抜いて
余に体を預けておれ







ばかばかあ…

オマエなんか…
もう……

ライダー…

きらい…

好き…

大嫌いだ…

大好き…

きらいだ…

きらい…

ばかあ…

[Empty rectangular box]

[Empty rectangular box]

[Empty rectangular box]

坊主
立てるか？

もう少し
休んで…

ボクは
大丈夫だ

それよりも
オマエ…

魔力供給は…

ん？

………
なんでもない…

こいつ…
ボクから魔力
全然持って
行ってない

あんなに
激しかったのに
こつやうって
歩けること自体
おかしいだろ…





では！
気持ちよく
なったところで…

もう一人の
強情な奴にも
会いに行くと
するか！

あいつも
楽しませて
やらないとなあ！

ばばば
馬鹿！

気持ちいいとか
関係ないだろ！



……
……
……

……
……
……



もう一人の……
まさか……

きっと次が
最後の戦いに
なるであろうな

最後……
でもオマエ……

ん？

そんなに……
あいつと
戦いたいのか？

それに
たぶんもう……
この聖杯戦争は……

……



覇の兆しが
芽生えつつある
坊主なら戦う理由も
勘付いとるだろう

余にとってあの者は
制覇せねば気がすまぬ

それになあ
坊主……



貴様も
腹を決める時が
訪れるやもしれん

ボクだって
覚悟は……

うん
うん……

それは
分かっているよ……

できてる

今となつては…

奇妙？

まあ
行けば分かる
だらうさ！

うん…

坊主と
あの壁めっ面の
巡り合わせて
何もない方が
おかしい

何か奇妙なことが
起きそうな予感が
するんでな…

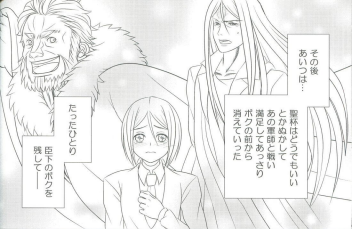
おっと
その前に
だな……

坊主

え？

なに
なに……

そういえば
ひとつ訊いておかねば
ならないことが
あったのだ



その後
あいつは…

聖杯はどうでもいい
とかぬかして
あの軍師と戦い
満足してあっさり
ボクの前から
消えていった

たったひとり

臣下のボクを
残して—



そして

あいつが
言ったように
ボクにも覚悟を
決める時が
やってきた

貴様も
腹を決める時が
訪れるやもしれん

無我夢中だった

もうオマエは…

貴方は
いないけど

でも—

……ああ、やってやる！
やりやいんだろ！

ボクは臣下の名に
恥じぬよう戦った

セイバーや
ランサー

みんな褒めて
くれたけど！



ボクは……
あの分厚くて
大きな掌に
褒めてほしかったー

地上に出たな

この辺で
解散しよう

はい

では
レイシフトの
準備をします

教える事は
何も……

特異点

人理焼却

なあ
あんた達

戻る前に
一つ教えてくれ

ここに来るまでの間
あんた達の会話で
気になる言葉が
いくつもあった

あんたらが
この世界に
来た目的は？

あんたらが
そっちの世界に
戻った後

……は……

この世界は
どうなるんだ？

聴力強化でも
してたか……

Work
……

私は自分を
買いかぶるような
嗜好は持ち合わせて
ないつもりだが！

そうだな

お前ならもう
勤付してるだろう

お前が
考えている
通りだ

この世界は
じきに消える

ゴクリ...

—いや
消える...とは
少し違うな

この世界は修正され
元の近い世界線に
統合されるか...

じゃあ今の
このボタの
記憶は...

...記憶は
操作される
だろうな

あるいは
特異点の原因となった
歪みができる前にまで
時間が遡る...

お前だけじゃない
全てのこの
世界中の人々が

何事もなかった
かのように

知らず知らずの内に
元の軌に戻るだけだ



怖い…か？

ま、まさか

元より覚悟は
できてたんだ…

せつかく命がけて
頑張ったのに

この記憶が消えるのは
ちよっと悔しいけど…



修正された
世界に戻るなら
未来も保証
されるんだろ？

だったら—

ボクは将来
身長も伸びるし

あの巨大な
力だって
満足に操れる
ようになる

まったく……

どこまで
馬鹿なんだお前は

我ながら
呆れ返るな…

それに…



ボクは
もう一度…

ライダーに
会える



……



そうだな……



命度いそ
ちやんとオマエに…

END

あとがき

実はこの話を考えた時、特異点を修正すれば、その特異点は消えちゃう(無かったことになる)と思ってたんですが、7章で、特異点で起きた出来ことは無くならず情報操作が行われるみたいなのがでてきて、最終ラストを少し変更しました。

でも、本編もその辺り味なので、もう好きなように妄想して読んでいただくと嬉しいです。
ありがとうございました！！

2017年3月20日 まほうびん POT

発行日：2017/3/20

印刷所：トム出版様

まほうびん/POT

pixiv:75511

twitter:@H_kimuko

mail:chikichuri@mahobin.net

※無断転載・複写・オークション出品はご遠慮ください